

神代花だより



JINDAI BOTANICAL GARDENS



@ParksJindai



椿ウィーク

3・4(火)～3・30(日)

神代つばき展

場所: 植物会館1F展示室

日本ツバキ協会登録新花約100種の紹介や
ツバキの切花を展示

つばき・さざんか園ガイドツアー

ガイドボランティアによる

3・15(土)・3・16(日) ①10:30～②13:30～

参加費: 無料(入園料別途) 集合場所: 正門周辺

伊豆大島椿まつり情報コーナー

都立大島公園椿園の情報をはじめ、伊豆大島椿
まつりの情報やあんこさんの顔出しパネルの設置ほか

場所: 植物会館ロビー



菊更紗



ト伴(ぼくはん)



神代都鳥

ツバキは桃山時代ころ茶道の興隆とともに愛好されるようになったといわれています。江戸時代になると、花好きの二代將軍徳川秀忠が全国から名花を求めたこともあり、ツバキは江戸で大流行し、豪華な八重咲きの花や洗練された美しさを持つ多彩な園芸品種が作り出されました。これら江戸で育まれたツバキを総称し「江戸椿」と呼んでいます。江戸のツバキは、江戸幕府が崩壊すると庭が荒廃し多くが失われ散逸してしまっています。明治12年、染井の植木屋伊藤小右衛門は、同業者とともに散逸したツバキを集め、

199品種のツバキの番付「椿花集」を発行します。

都市化により植木産地が埼玉県の安行に移ると、ツバキは安行の皆川椿花園に引き継がれ、戦時中の食糧難にも大事に守り伝えられました。

当園のつばき・さざんか園には、約250種類のツバキやサザンカが植えられています。その多くは、昭和36年の神代植物公園開園に向け皆川椿花園から入手したものです。

伝統を受け継ぐ江戸椿も100品種以上がみられ、こは愛好家から「江戸椿の聖地」と呼ばれています。

ツバキの漢字は、木偏に春と書きます

(これは日本で作られた漢字だそうです)。早咲きの品種は12月ころから咲きだしますが、春3月ころがまさにツバキの見頃。

花の色や形も品種ごとに様々で見飽きることはありません。葉が見どころの変わり葉品種もあります。当園で見つかったオリジナル品種、神代都鳥と、神代桃錦も、お見逃しなく。



さくらまつり

3・19(火)～4・6(日)

臨時開園: 3月24日(月)
休園日: 3月25日(火)

さくらコンサート

芝生広場で桜並木を背景に心安らぐ音楽をお届け

①11:15～②14:15(各回30分)
※雨天は植物会館集会所で実施予定



トランペット ピアノ
渡邊和武 小杉泰斗

ジャズ

3月30日(日)

クラシック

4月6日(日)



ヴァイオリン ヴァイオリン
佐藤百花 阿部奏美

ガイドボランティアによる

さくら園ガイドツアー

3・22(土)・3・23(日)

4・5(土)・4・6(日)

①10:00～②13:30～

参加費: 無料(入園料別途)

集合場所: 正門周辺

※開催時間に集合場所へお越しただけでご参加いただけます。



サクラ'鬱金'



サクラ'神代曙'



サクラ'一葉'



サクラ'楊貴妃'



ヤマザクラ

3月の展示案内

名 称	協賛団体他	期 間	場 所
中国春蘭展	芳華会	2月26日(火)～3月2日(日)	植物会館展示室
趣味の盆栽展・春 第101回趣味の盆栽展	調布市盆栽生産組合	3月11日(火)～3月16日(日)	植物会館展示室
神代つばき展	日本ツバキ協会	3月18日(火)～3月23日(日)	植物会館展示室
春の洋らん展	神代洋らん友の会	3月25日(火)～3月30日(日)	植物会館展示室



ふんわりとした桜色の生地で
ジューシーな豚肉を包んだ
ボリュームたっぷりの豚まんです!

パークス豚まん(桜色) 380円

芝生広場売店
限定
春のメニュー

さくら香る
季節限定ソフトクリーム

プレミアムソフト さくら 500円

5月の予定

一面にひろがるツツジに圧倒

つつじウィーク

4月8日から4月30日まで

ガイドボランティアカレンダー



隣接する深大寺の催し案内
神代植物公園は当日限り再入園可能です。あわせてお楽しみください。

日本最大の肖像彫刻

元三大師大開帳

本来は50年に一度の
の年月をかけた大修理
特別大開帳として行い
御開帳終了後は秘仏になります。

御開帳を3年
完了を記念し
ます。



期間 令和7年4月26日～6月2日

武蔵野の水と緑と寺と蕎麦

深大寺

東日本最古の国宝仏・日本最大の肖像彫刻

神代花だより



JINDAI BOTANICAL GARDENS



@ParksJindai



椿ウィーク

3・4(火)～3・30(日)

神代つばき展

場所: 植物会館1F展示室

日本ツバキ協会登録新花約100種の紹介や
ツバキの切花を展示

つばき・さざんか園ガイドツアー

ガイドボランティアによる

3・15(土)・3・16(日) ①10:30～②13:30～

参加費: 無料(入園料別途) 集合場所: 正門周辺

伊豆大島椿まつり情報コーナー

都立大島公園椿園の情報をはじめ、伊豆大島椿
まつりの情報やあんこさんの顔出しパネルの設置ほか

場所: 植物会館ロビー



ト伴(ぼくはん)



神代都鳥

ツバキは桃山時代ころ茶道の興隆とともに愛好されるようになったといわれています。江戸時代になると、花好きの二代將軍徳川秀忠が全国から名花を求めたこともあり、ツバキは江戸で大流行し、豪華な八重咲きの花や洗練された美しさを持つ多彩な園芸品種が作り出されました。これら江戸で育まれたツバキを総称し「江戸椿」と呼んでいます。江戸のツバキは、江戸幕府が崩壊すると庭が荒廃し多くが失われ散逸してしまっています。明治12年、染井の植木屋伊藤小右工門は、同業者とともに散逸したツバキを集め、199品種のツバキの番付「椿花集」を発行します。都市化により植木産地が埼玉県の安行に移ると、ツバキは安行の皆川椿花園に引き継がれ、戦時中の食糧難にも大事に守り伝えられました。当園のつばき・さざんか園には、約250種類のツバキやサザンカが植えられています。その多くは、昭和36年の神代植物公園開園に向け皆川椿花園から入手したものです。伝統を受け継ぐ江戸椿も100品種以上がみられ、こは愛好家から「江戸椿の聖地」と呼ばれています。ツバキの漢字は、木偏に春と書きます(これは日本で作られた漢字だそうです)。早咲きの品種は12月ころから咲きだしますが、春3月からがまさにツバキの見頃。花の色や形も品種ごとに様々で見飽きることはありません。葉が見どころの変わり葉品種もあります。当園で見つけたオリジナル品種、神代都鳥と、神代桃錦も、お見逃しなく。



さくらまつり

3・19(火)～4・6(日)

臨時開園: 3月24日(月)
休園日: 3月25日(火)

さくらコンサート

芝生広場で桜並木を背景に心安らぐ音楽をお届け

①11:15～②14:15～(各回30分)
※雨天は植物会館集客室で実施予定



トラムバット
渡邊和武



ピエラ
小杉泰斗

ジャズ

3月30日(日)

クラシック

4月6日(日)



ヴァイオリン
佐藤百花



ヴァイオリン
阿部奏美

さくら園ガイドツアー

ガイドボランティアによる

3・22(土)・3・23(日)

4・5(土)・4・6(日)

①10:00～②13:30～

参加費: 無料(入園料別途)

集合場所: 正門周辺

※開催時間に集合場所へお越しただけでご参加いただけます。



サクラ'鬱金'



サクラ'神代曙'



サクラ'一葉'



サクラ'楊貴妃'



ヤマザクラ